



●
穀物の可能性、最大限に。

目次

グループ経営理念	1
会長メッセージ	4
社長メッセージ	6
事業概要	12

価値創造ストーリー

価値創造への思い	14
価値創造のあゆみ	16
価値創造事例	18
価値創造プロセス	20
経営資本	22
「穀物ソリューション・カンパニー」の強み	24
マテリアリティ	26
安全・安心・安定供給の確保	28
デジタル化推進	29

経営戦略

長期ビジョン実現へのロードマップ	30
長期ビジョン『SHOWA Next Stage for 2025』の振り返り	32
中期経営計画23-25	34
営業戦略（事業・営業部門統轄メッセージ）	42
財務戦略（コーポレート部門統轄メッセージ）	44
RD&E戦略（テクニカル部門統轄メッセージ）	46
事業別戦略	48
製粉事業	48
製油事業	49
糖質事業	50
飼料事業	51
その他	51

サステナビリティ

サステナビリティ	52
TCFD提言への対応	54
環境負荷の低減	58
人的資本経営	60
ステークホルダーエンゲージメント	62

ガバナンス

社外取締役メッセージ	64
役員一覧	66
コーポレート・ガバナンス	68
リスクマネジメント	74
コンプライアンス	75

データ集

会社概要	76
財務・非財務ハイライト（11カ年）	78
株式情報	80

編集方針

「統合報告書2023」では、昭和産業グループの経営理念である「人々の健康で豊かな食生活に貢献する」ことを基本に、目指す姿や価値創造に向けた取り組みについて、ステークホルダーの皆様に分かりやすくお伝えすることで、より良いコミュニケーションを創出し、さらなる価値創造につなげることを目的としています。制作にあたっては、Value Reporting Foundation (VRF) (現IFRS財団)「国際統合報告フレームワーク」や経済産業省「価値協創のための統合的開示・対話ガイダンス」などを参考にしました。また、より多くの方に知っていただくために本報告書の内容は、過去のレポートとともに当社ウェブサイトにも掲載しています。

<https://www.showa-sangyo.co.jp/ir/>

報告対象範囲

昭和産業グループ（2023年3月31日時点）。具体的な活動内容については、主に昭和産業単体について報告しています。

報告対象期間

2022年度（2022年4月1日～2023年3月31日）の活動を中心に、事業概況や長期ビジョンにおける「中期経営計画23-25」など、一部に最新の情報を含め報告しています。

統合報告書の位置づけ

